

プレスリリース

2006年6月4日

長澤崇代

[takayo@projectilearts.org](mailto:takayo@projectilearts.org)

917.847.3448

## ドキュメンタリー 高校野球 “High School Baseball”

### ■ 作品内容

世界で初めてアメリカ人監督により英語で日本の全国高校野球大会を追いかけたドキュメンタリー。

### ■ テレビ放映

PBS テレビ 7月4日（火曜）夜10時放送

ケネス エング監督作品 高校野球 “High School Baseball”

PBS局の第19シーズン、P.O.V (Point Of View)の一作品として独立記念日である7月4日夜10時より放送されます。P.O.VはPBSのノンフィクションフィルムのプレミアショーケースです。

### ■ 映画祭上映

ワールドプレミア

ブルックリンインターナショナル映画祭 6月8日（木曜）4時

### ■ プロデューサー：アレックス・シアー

この作品で、我々はユニークな日本式の野球と、野球少年たちの共通の夢である甲子園球場への道を彼らが一心に追いかける様を捉えました。アメリカに日本の高校野球のようなものは存在しなく、特に日本の高校生たちが甲子園を目指し必死になって練習に励む様子はアメリカの若者文化にはありません。アメリカと日本の高校生のスポーツに対する姿勢も大変異なります。

### ■ 監督：ケネス・エング

3月のワールドクラシックベースボールによって、世界各国の文化の違う人達が野球を通して一つになるということを目の当たりにしました。

日本チームの優勝は、多くの日本人にとって野球がどれほど親しまれているかを知っているだけに、大変喜ばしいことでした。この作品によって、アメリカ人が日本文化をもっと知りたいと思ってくれることを願います。

## ■クレジット

監督／編集	ケネス・エング Kenneth Eng
脚本／プロデューサー	アレックス・シアー Alex Shear
プロデューサー	長澤崇代
撮影	ジェイク・クレネル Jake Clennell
音楽	田中カレン
セカンドカメラ	稲村たけし

## ■作品概要

高校野球 “High School Baseball” は日本の高校野球を世界で初めて英語で語る作品です。夏の大会は全国4000校を勝ち抜いてきた49校のみが出場する事ができ、甲子園球場にて全国一を目指し熱い戦いを繰り広げます。日本人には慣れ親しんだ夏の風物詩である高校野球をアメリカ人の目を通して描きます。

2006年3月、日本はキューバを破り、ワールドクラシックベースボールで優勝しました。日本の優勝はほとんどのアメリカ人にとっては驚きでしたが、日本人の野球に対する思いを知っている人達にとっては驚きのなかにも来るべきときが来たという当然のような思いがあったのではないのでしょうか。1872年に日本で野球が受け入れられてから、大リーグで活躍するシアトルマリナーズのイチロー選手や、ヤンキースの松井秀樹選手の登場は野球好きでなくても知るどころです。

高校野球 “High School Baseball”ではキャラクターの全く違う2校のチームが2003年の第86回全国大会出場をかけて地方大会に立ち向かう様子を追いかけました。

天王寺高校は大阪の府立高校で、監督、政先生は選手とその家族と深く関わりながら、情熱的にチームを引っ張っていきます。大阪は全国で一番競争率が高く、200校近くある中で甲子園の出場権を手にするのは一校だけです。

智辯和歌山高校は私立学校で、過去20回以上も甲子園にチームを導き、3回の優勝経験がある伝説の高嶋監督が率いる強豪校です。智辯の強さは有名で、甲子園に出場出来る近道として、選手たちが高嶋監督のもとに集まってきます。

政監督が一人一人の選手たちと深く関わることによって築かれた絆は、大会の最後に明確になります。対して高嶋監督は、チームが負けた瞬間から来年の新チームに頭を切りかえ、智辯和歌山高校の優勝を目指します。

夏の全国大会では6万人の観衆が、灼熱の甲子園球場に高校生たちのプレイを見に集まります。

高校野球 “High School Baseball”は選手たちだけではなく、彼らを取り囲む、家族、同級生、応援団の様子も追いかけてきました。

■ 制作・協力

プロジェクトイルアーツ制作

米日財団、日米友好基金、国際交流基金からの助成金、及びユナイテッド航空、高校野球連盟、朝日新聞のご協力により制作されました。

ウェブサイト

[www.pbs.org/pov](http://www.pbs.org/pov)

[www.projectilearts.org/kokoyakyu](http://www.projectilearts.org/kokoyakyu)

取材のお申し込み、その他ご不明な点などございましたら長澤崇代（電話 917.847.3448/メール [takayo@projectilearts.org](mailto:takayo@projectilearts.org)）まで直接お問い合わせ下さい。